


クラス	C101	担当教員	上田 和宏
	テーマ	データに基づいた考え方を身につける（説明力の習得）	
	著書・論文 研究課題等	最近、個人の時間使用データから生活時間の推計などを行っている。 “Time use of married couples: Bayesian approach,” Journal of Applied Statistics, 2019. (共著) “Analysis of job satisfaction: The case of Japanese private companies,” Labour, 2016. (共著)	

ゼミナール概要

【キーワード】 データ、統計学、表計算、説明力

【目的、内容、方法等】

ゼミの目的は、「データを使って考えたり説明したりすることができる力をつけること」である。

私たちは、「当社の製品は、××の成分が他社の製品に比べて○パーセント多く入っている。」「グラフから家族一人あたりのスマートフォンの利用料金が増えていることがわかる。」・・・など、数字やグラフ・表を使った説明にしばしば接する。

変化を説明するとき、単に増えたとか減ったとかと言うより、どれくらい、また、どの程度、増えたか減ったかを具体的に数値で示す方が、説得力が増すだろう。自分が伝えたいことを他人にわかってもらうには、このようにデータやグラフなどを使って具体的に説明することが有効である。

データを使って説明する力は社会に出て必ず必要になる。数値を扱うと言うだけで敬遠する人もいるが、ハードルはそれほど高くない。食わず嫌いということもよくある。

ゼミでは統計データを加工して必要な情報を取り出す方法やわかりやすく示す方法などについて学ぶ。そして実際にいろいろな統計データを利用して説明する練習を行う。

【2年生】

- ・統計学の基礎知識を学ぶ/EXCEL など表計算ソフトを使うことに慣れる
 - ・学んだ知識を経済や社会の問題に応用して、レポートを書いたりプレゼンを行ったりする。
- 「経済・経営のための数学」程度の数学や「情報処理演習」で学んだ EXCEL の使い方程度がわかっているだけでよい。1年生で「統計学」に関する授業を取っていないだけでもよい。

自分で手を動かして、問題を解いたりデータを処理したりする力をつけることを目指す。

【3年生】

- ・1年をかけて、自分たちで決めたテーマについて研究して（小）論文を作成する。

就職活動で大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものをつくる。

【4年生】

- ・大学での「学習の成果を形として残す」ため、卒業論文を作成する。

以下の点にも留意してほしい。

- ・2年生、3年生ではグループで作業を行うので、グループワークへの積極的な参加を求める。
- ・ゼミでフィールドワークを行うことはないと思うが、他の授業などで行われているフィールドワークには積極的に参加するとよいと思う。
- ・ゼミでの勉強やレクリエーションなどについて、皆さんから希望があれば実施を考える。自ら積極的に動き、人と交わる意欲を発揮してほしい。

【使用テキスト】 高橋麻奈、『統計学』、技術出版社、2015年

担当教員からのメッセージ

応募には、この「概要」を読んで事前の説明会に参加してください。説明会ではゼミについての質疑応答をできるだけ行うようにするので、質問を考えておいてください。（おまけ）次の項目のいくつか該当するような人を歓迎します。 デパ地下の行列に並ぶ/食べるのが好き/旅行したい/本に使うお金はもったいなくない/小説や漫画を読む/勉強したい/意欲はある/体力はある/まじめ